

エコアクション21

# 環境経営レポート



2024年度版

2023年11月～2024年10月

2025年1月24日作成

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業所です



エコアクション21  
環境省  
認証番号 0005505

# 株式会社タカノスマイル

## 目 次

1. 環境経営方針	.....	3
2. 会社概要	.....	4 ~ 6
3. 環境経営目標とその実績	.....	7
4. 主な環境経営活動計画の内容及び取組結果の評価	.....	8
5. 今年度環境経営パフォーマンス実績(抜粋)	.....	8
6. 環境への保全活動の取組結果の評価	.....	9
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	.....	10
8. 代表者による全体評価・見直し	.....	11
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	.....	12
10. 環境に関連する他の取組	.....	13

## 【1.環境経営方針】

### 環境経営方針

株式会社タカノスマイルは、電気工事材料の卸販売商社として各メーカー・仕入先や  
お得意先と協力し、地球環境に配慮した商材の提案を通じて常に環境負荷の継続的  
改善活動に取り組み、環境関連法規の遵守等を推進し、このような活動が重要な経営  
課題であると認識をすると共に、企業の社会的責任を果たして参りたいと思います。

#### <環境経営行動指針>

##### 1. 二酸化炭素排出量削減

主な排出源の照明設備、空調設備、自動車燃料の効率的な運用により、使用エネルギーの  
削減に取り組みます。

また、業務効率を改善し、残業時間の削減を目指し電気代の消費を抑えます。

##### 2. 廃棄物排出量削減

排出されるゴミの分別を徹底し、リサイクルの促進や廃棄物の排出量削減に努めます。

##### 3. 総排水量削減

使用量を削減し、節水に努めます。

##### 4. 化学物質使用量の削減

有害性化学物質の資料の情報提供を致します。

##### 5. グリーン購入の促進

環境配慮型製品(グリーン購入法適合品)を優先的に購入・使用します。

##### 6. 環境配慮製品・サービスの提供

環境に配慮した商材をメーカーより紹介してもらい、顧客に対して積極的にPR致します。

##### 7. 環境教育の促進

定期的な環境教育を実施し、全社員の意識の向上を図ります。

##### 8. 社会貢献の推進

フードドライブ活動を通じて社会貢献に努めます。

この環境経営方針を全社員に周知し、一般にも公開します。

制定：2009年10月26日

改訂：2010年10月15日

改訂：2018年10月20日

改訂：2019年8月21日

改訂：2023年10月21日

株式会社タカノスマイル  
代表取締役 山本 哲也



## 【2.会社概要】

### (1) 事業所名、所在地、代表社名、事業の規模

事業所名	株式会社タカノスマイル
所在地	東京都江戸川区東松本2-17-9
代表社名	代表取締役社長 山本 哲也
資本金	一億円
設立	昭和26年(1951年)11月1日

### (2) 対象組織

事業所名	所在地	業務概要	認証・登録 範囲の該否	敷地面積 (㎡)
本社	〒133-0071 東京都江戸川区東松本2-17-9 (登記上: 〒135-0007 東京都江東区新大橋2-16-6)	卸販売	該当	約543
江東営業所	〒135-0007 東京都江東区新大橋2-16-6	卸販売	該当	約360
足立営業所	〒123-0841 東京都足立区西新井5-30-17	卸販売	該当	約330
松戸営業所	〒271-0064 千葉県松戸市上本郷4592-2	卸販売	該当	約329
船橋営業所	〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1-11-15	卸販売	不該当	約517

追記:現在は段階的認証であり2025年11月に船橋営業所を対象範囲に拡大する予定です

### (3) 事業活動の概要

空調や照明設備・配電機器など電設資材関連、  
太陽光やエコキュートなど環境関連機器の卸販売

主な販売先-電気工事店約95%、一部官公庁約5%

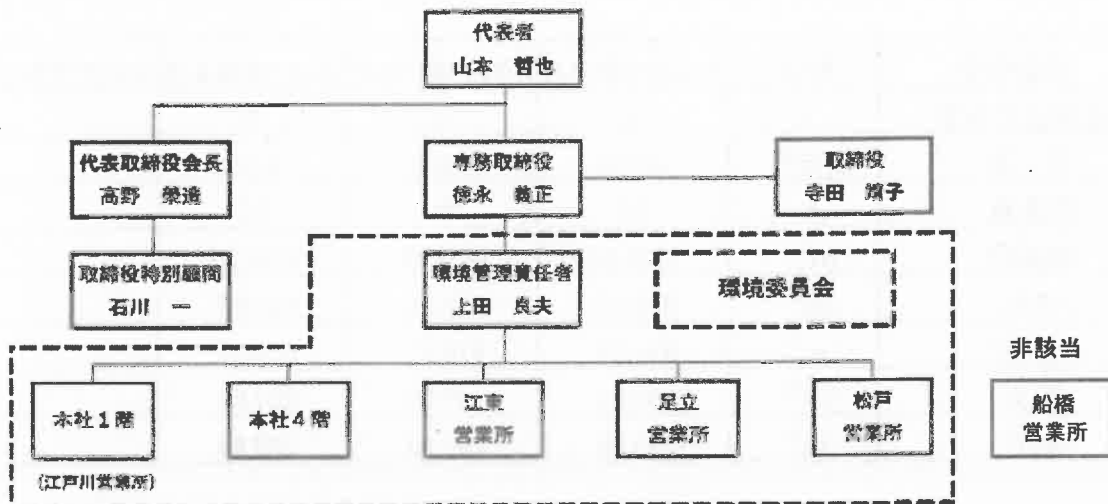
### (4) 環境経営管理責任者及び担当者連絡先

役割	役職	氏名	電話番号	FAX
環境経営管理責任者	総務部長	上田 良夫	03-3673-2001	03-3673-2612

(5)施設等の状況

設備名	総排気量又は定格出力(L)	台数	タイプ
普通自家用乗用車	2.48	1	セダン
小型自家用乗用車	1.19	1	セダン
小型自家用貨物車	1.79	1	トラック
軽自動車自家用貨物車	0.65	18	トラック&バン
小型自家用貨物車	1.99	8	トラック
61FBR10SX II	1,000kg	1	フォークリフト

(6)環境経営管理実施体制



	役割、責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営における課題とチャンスを選別し、明確にする。</li> <li>環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。</li> <li>効果的で必要十分な実施体制を構築する。</li> <li>各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員へ周知する。</li> <li>EA21を運用し、維持するための経営資源を用意する。</li> <li>環境経営全体の取り組み状況及びその効果を評価し以下の項目を含む総合的な見直しを実施し、必要な指示を行う。</li> </ul> <p>①環境経営方針 ②環境経営目標及び環境経営計画 ③実施体制</p>
環境管理責任者 部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境への負荷と取組の状況の把握及び評価。</li> <li>環境関連法規などの取りまとめ、並びに遵守状況の評価。</li> <li>環境経営目標及び環境経営計画の策定、並びに達成状況・実施状況の評価。</li> <li>問題がある場合の是正処置、予防処置の実施。</li> <li>教育・訓練の実施。</li> <li>環境コミュニケーションの実施（内部、外部、環境経営レポート）</li> <li>環境上の緊急事態への準備及び対応。</li> <li>文書類の作成・管理</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の達成、並びに環境関連法規などの遵守に必要な取組を実施する。</li> <li>必要に応じて手順書を作成し運用する。</li> </ul>

## (7)事業の規模

資本金 一億円

設立

昭和26年(1951年)11月1日

活動規模	単位	2017年営業年度	2018年営業年度	2019年営業年度	2020年営業年度	2021年営業年度
主要製品生産量	t	0	0	0	0	0
売上高	百万円	2,812	2,970	3,028	3,118	3,151
従業員	人	48	48	47	50	49
床面積	m <sup>2</sup>	1934.80	1934.80	1934.80	1934.80	1934.80
(本社)	(m <sup>2</sup> )	822.65	822.65	822.65	822.65	822.65
(江東)	(m <sup>2</sup> )	610.37	610.37	610.37	610.37	610.37
(足立)	(m <sup>2</sup> )	207.90	207.90	207.90	207.90	207.90
(松戸)	(m <sup>2</sup> )	293.88	293.88	293.88	293.88	293.88

活動規模	単位	2022年営業年度	2023年営業年度	2024年営業年度	2025年営業年度	2026年営業年度
主要製品生産量	t	0	0	0		
売上高	百万円	3,072	3,929	4,174		
従業員	人	51	51	53		
床面積	m <sup>2</sup>	1934.80	1934.80	1934.80		
(本社)	(m <sup>2</sup> )	822.65	822.65	822.65		
(江東)	(m <sup>2</sup> )	610.37	610.37	610.37		
(足立)	(m <sup>2</sup> )	207.90	207.90	207.90		
(松戸)	(m <sup>2</sup> )	293.88	293.88	293.88		

### 【3.環境経営目標とその実績】

※産業廃棄物は本社にて一括収集し、専門回収業者に引き渡しております

(2022年度～2024年度)

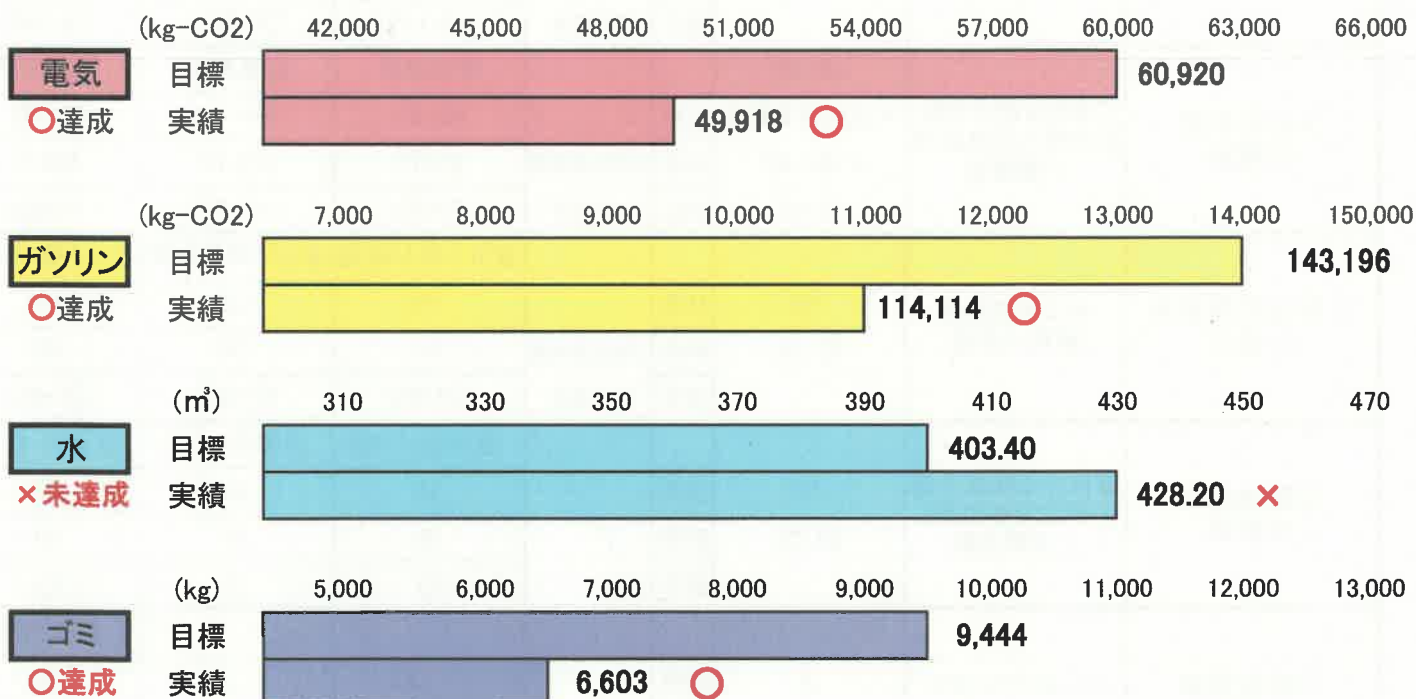
但し、納入先より電線空ドラムの処分を依頼された場合は専門業者へ回収を依頼しております

環境経営方針項目	環境経営目標 取組項目	(基準値2009年度) H20.11-H21.10 +江東営業所分	CO2 換算 係数	年 度 目 標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
				R3.11-R4.10	R4.11-R5.10	R5.11-R6.10	
①二酸化炭素 排出量の削減	①電力使用料削減 (kwhx0.378= kg-CO2)	43,559 +江東営業所分 = 63,011 kg-CO2/年	目標	0.378	基準値-3.3%	基準値-3.3%	基準値-3.3%
			実績	( )内対基準値	60,920	60,920	60,920
			達成	:対目標値	49,575	51,349	49,918
	②化石燃料 (ガソリン) 消費量削減 (Lx0.0671x34.6=kg- CO2)	149,162 kg-CO2/年	目標	0.0671	基準値-4%	基準値-4%	基準値-4%
			実績	( )内対基準値	143,196	143,196	143,196
			達成	:対目標値	111,958	120,878	114,114
	① + ② 合計	212,173 kg-CO2/年	目標		204,116	204,116	204,116
			実績	( )内対基準値	161,533	172,226	164,032
			達成	:対目標値	○(-19%)	○(-16%)	○(-18%)
②廃棄物排出量 の削減	①一般廃棄物 削減 (紙・プラ1kg= 20Lにて計算)	2,676 +江東営業所分 = 3,536 kg/年	目標		基準値-4%	基準値-4%	基準値-4%
			実績	( )内対基準値	3,395	3,395	3,395
			達成	:対目標値	3,527	3,456	3,453
	②産業廃棄物 削減 (1kg=m <sup>3</sup> x0.35x1000 にて計算)	6,300 kg/年	目標		基準値-4%	基準値-4%	基準値-4%
			実績	( )内対基準値	6,049	6,049	6,049
			達成	:対目標値	7,000	2,625	3,150
	① + ② 合計	9,836 kg/年	目標		9,444	9,444	9,444
			実績	( )内対基準値	10,527	6,081	6,603
			達成	:対目標値	×(+11%)	○(-36%)	○(-30%)
③総排水量 の削減	こまめな節水や蛇 口の閉め忘れ防止 の徹底他 +江東営業所分 = 403.40 m <sup>3</sup> /年	目標		新基準値	新基準値	新基準値	
		実績	( )内対基準値	403.40	403.40	403.40	
		達成	:対目標値	379.00	419.70	428.20	
④環境配慮製品 の推進	省エネ型照明 器具の促進	720 件/年	目標		省エネ商材提案	省エネ商材提案	省エネ商材提案
			実績	( )内対基準値	720	720	720
			達成	:対目標値	781	770	767
⑤環境教育 の推進	定期的な推進会議 や朝会等を利用し た啓蒙活動	12 回/年	目標		基準値+2.5回	基準値+2.5回	基準値+2.5回
			実績	( )内対基準値	30	30	30
			達成	:対目標値	30	30	30
⑥社会貢献 の推進	フードドライブを 利用した活動	2 回/年	目標		基準値+2.5回	基準値+2.5回	基準値+2.5回
			実績	( )内対基準値	2	2	2
			達成	:対目標値	2	2	2

#### 【4.主な環境経営活動計画の内容及び取組結果の評価】

取組目標	評価(対目標値)	具体的な達成手段	取組結果の評価等	責任者	実施期間
電力使用料削減	○ (-18%)	エリア・時間帯別消灯実施 空調設備設定温度見直し 消耗消費電力の見直し	○倉庫内照明のLED化 ○コロナ対策にも考慮しての窓開閉による空調設備の節約	各部署推進責任者	通年
化石燃料(ガソリン)消費量削減	○ (-21%)	車両急発進・急停止防止 無駄な積載物の見直し 運行の効率化を図る	○運送便委託により燃料負担減 ○テレマティクス危険運転発報による急ブレーキ・急発進の抑制効果	各部署推進責任者	通年
廃棄物排出量削減	○ (-30%)	可燃・不燃区分けの徹底 廃棄物再利用率の推進	○搬入先簡易梱包化 ○自社のペーパーレス化浸透 ○産業廃棄物削減取組により大幅減少	各部署推進責任者	通年
総排水量削減	× (+6%)	こまめな節水活動状況確認 蛇口の閉め忘れ防止徹底	○節水呼び掛けを行ったが猛暑の影響も有り未達	各部署推進責任者	通年
環境配慮製品推進	○ (+6%)	省エネ型照明器具の促進 省エネ商材の提案	○積極的PR	各部署推進責任者	通年
環境教育の推進	○	定期的な推進会議や朝会等を利用した啓蒙活動	○定期的な朝会や全体会議の開催より促進	各部署推進責任者	通年
社会貢献の推進	○	フードドライブ活動を通じた社会貢献	○社員や得意先への声掛けにより食品ロスを回避 地元団体へ寄付が出来た	各部署推進責任者	通年

#### 【5.今年度環境経営パフォーマンス実績(抜粋)】



## 【6.環境への保全活動の取組結果の評価】

		今	回
1. 事業活動動へのインプットに関する項目	小 計	237	／ 256
1.省エネルギー		145	／ 156
2.省資源		58	／ 58
3.水の効率的利用及び日常的な節水		34	／ 42
4.化学物質使用量の抑制及び管理		0	／ 0
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	小 計	144	／ 158
1.温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止		24	／ 38
2.廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理		120	／ 120
3.排水処理		0	／ 0
4.その他生活環境に係る保全の取組等		0	／ 0
3. 製品及びサービスに関する項目	小 計	95	／ 104
1.グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)		32	／ 38
2.製品及びサービスにおける環境配慮		63	／ 66
4. その他	小 計	26	／ 30
1.生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組		0	／ 0
2.環境コミュニケーション及び社会貢献		22	／ 26
3.施主・事業主における建築物の増改築、解体等にあたっての環境配慮		4	／ 4
合 計		502	／ 548
取組度合い		92 %	
実施年月		2024年10月	

## 【7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無】

当社に関する環境関連法規等は次頁の通りですが、遵守状況を2022年10月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟もありませんでした。

区 分		内 容	遵守状況
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法) (産業廃棄物適正処理)  東京都廃棄物条例 (一般廃棄物の処理) 江戸川区・足立区の廃棄物の処理及び再利用に関する条例 松戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	再資源化による廃棄物排出量削減 マニフェストの交付 マニフェスト返送日の確認、記録、保管 マニフェストをもとに報告書を作成し 毎年6月30日迄都道府県知事に届出 一般廃棄物の分別収集、排出 市町村が行う一般廃棄物の収集、運搬行政に協力しなければならない(適正分別等) 廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するとともに、廃棄物を適正に処理	○
資源循環 (リサイクル)	資源の有効な利用の促進に関する法律 (改正リサイクル法)(パソコンリサイクル法) 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) (小型家電リサイクル法) 使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	パソコン・複写機の適正処分  使用済家電品のリサイクル処分 家電リサイクル券の発行・保管 各自治体基準に沿って処分 使用済車両のリサイクル処分	○
エネルギー	エネルギーの使用の合理化等に関する法律 (省エネ法)	エネルギーの使用の合理化に関する 所要措置を講ずる	○
環境	フロン排出抑制法   第1種特定製品の管理 第1種特定製品廃棄時の義務	異常振動・異常運転音 油の漏れ キズの有無、熱交換器の腐食、錆び等 熱交換器の霜付きの有無 簡易点検・定期点検 回収後に「引取証明書」を3年間保存 引取等実施者に「引取証明書」の写しを交付	○
温暖化	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス削減努力、情報提供	○
(グリーン 購入)	国等による環境物品等の調達推進等に関する法律	事業者及び国民は、できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする	○
大気汚染	自動車NO <sub>x</sub> ・PM法 (自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法) 道路運送車両法 (道路運送車両に関し公害の防止その他の環境の保全)	排ガス基準適合車の使用   排ガス基準適合車の使用	○
社会貢献	食品ロスの削減の推進に関する法律	まだ食べることができる食品が廃棄されないようするための社会的な取組	○
その他	消防法	消防設備などの設置・維持	○

## 【8.代表者による全体評価・見直し】

(1)見直し実施月日	2024年12月19日(木曜日)
(2)出席者	代表取締役 山本 哲也、 環境管理責任者 上田 良夫
(3)報告事項	①環境関連法規の遵守状況 ②環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果 ③問題点の是正処置及び予防処置の結果 ④外部からの苦情等の受付結果 ⑤環境経営方針の見直し ⑥実施体制の見直し ⑦その他(全体的取組意識について)
(4)代表者の評価	①について、最新の環境関連法規の情報を入手し遵守する ②について、概ね活動計画に沿って実行・達成できた ③について、問題点が発生したら適正な是正措置を検討し、速やかに対応 ④について、苦情などが発生したら適正な是正措置を検討し、速やかに対応 ⑤について方針については変更せず継続して実施 ⑥については現実施体制を継続して取り組む ⑦については完全達成を目指すべく引き続き取り組み意識を継続する
(5)代表者の全体総括	電気使用料は昨年よりも削減が出来、目標達成も出来た  ガソリンについてはリース終了時には新車へ入れ替え、 ECO車両を増やし目標は達成できた  総排水量については、節水の呼び掛けは行ったが猛暑日が過去最多になるなど、 かなり猛暑の影響も有り目標達成に届かなかったが引き続き達成できるよう意識す  一般廃棄物の方は目標達成は出来なかったが、前年よりは若干減少する事ができ 産業廃棄物については昨年より若干増えたが、全体で目標達成出来た  全体総括としては、エコアクション21への取組は定着しており 目標値を変えずに達成する事でモチベーションを維持しているので 引き続き完全目標達成できるようにする目的を持って取り組む事が大切
(6)代表者の具体的指示	完全目標達成を目指そう

以上

## 【9.次年度の環境経営目標及び環境経営計画】

No	環境経営目標		環境経営計画		
	項目	目標値	取組の内容	責任者	
1	二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	60,920 kg-co2/年	①エリア・時間帯別消灯の実施 ②空調設備の設定温度の見直し ③消耗消費電力の見直し ④残業期間の削減	本社：大森、寺田 江東営業所：望月 足立営業所：茂木 松戸営業所：石井
		ガソリン消費量の削減	143,196 kg-co2/年	①車両の急発進・急停止の防止 ②無駄な積載物の見直し ③運行の効率化を図る	
		合計	204,116 kg-co2/年		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	3,395 kg/年	①可燃・資源の区分けの徹底	
		産業廃棄物	6,049 kg/年	①廃棄予定物の再利用促進 (返品率の低減)	
		合計	9,444 kg/年		
3	水使用量の削減	403.40 m <sup>3</sup> /年	①こまめな節水 ②蛇口の閉め忘れ防止の徹底		
4	環境配慮製品の推進	720 件/年	①環境配慮型製品の優先購入 ②省エネ商材の提案		
5	環境教育の推進	30 回/年	①定期的な推進会議 ②朝会等を利用した啓蒙活動		
6	社会貢献の推進	2 回/年	フードドライブ活動を通じた社会貢献		

## 【10.環境に関連する他の取組】

弊社は取引先の株式会社山善様が推進する、省エネ機器の販売・普及を通じてCO2削減に取り組む「グリーンボールプロジェクト(GBP)」に参加しております



### ● グリーンボールプロジェクトの理念

小さなエコを、大きなエコへ。たくさん集まることでできること



小さな家や工場も、環境優良商品を活用することで確実にCO<sub>2</sub>を削減しています。ところが個々の削減量が少なくその貢献は見過ごされています。そんな個々の貢献を集めて数値化し、世の中に見える形にするだけでなく、その貢献度を高めていく取り組みが、このグリーンボールプロジェクト。小さな家や工場で削減されるCO<sub>2</sub>は、例えてみれば小さなグリーンボール。でもたくさんのグリーンボールが集まることで、きっと大きな価値を生み出します。このプロジェクトによって、世の中のすみずみにグリーンボールが行き渡ることを願っています。